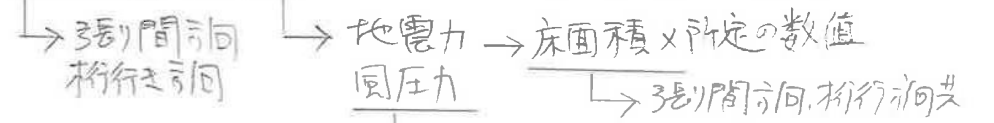


# 平成29年 No. 9 木造軸組工法

1. 風圧力による必要壁量 → 張り間方向、桁行方向と火ど火計算し、火ど火の方向に壁又は筋かいを設置する
2. 圧縮力を負担する筋かい → 圧縮力により座屈（たわみ）に厚さ3cm、巾幅9cm以上必要
3. たどき掛け筋かいの壁倍率 → 片掛け筋かいの2倍（但し最大値5）
4. 筋かいと間柱が交差する部分の納め → 間柱の断面をくり抜いて、筋かいは欠込み（たわみ）

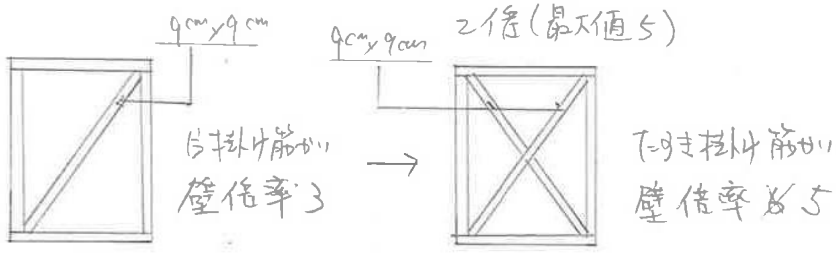
## ① 風圧力による必要壁量

全方向の水平力に対して安全であるように壁、筋かいを設置

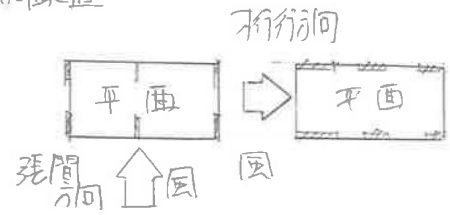
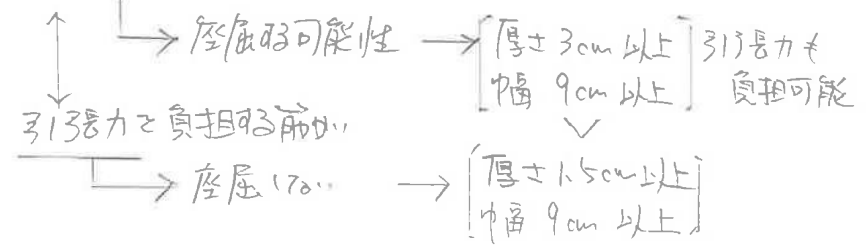


必要壁量: 建物の貝付面積 × 所定の数値  
→ 張り間方向、桁行方向と火ど火計算し、火ど火に配置

## ② たどき掛け筋かいの壁倍率



## ③ 圧縮力を負担する筋かい → 最低寸法



## ④ 筋かいと間柱が交差する部分の納め

